

# CASBEE<sup>®</sup>-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 (使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1))

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	日本ポリマー産業株式会社 京都工	階数	地上3F
建設地	京都府八幡市下奈良柳6-1.6-2.7-1	構造	S造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	30人
地域区分	5地域	年間使用時間	2,080時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2019年8月 予定	評価の実施日	2018年11月9日
敷地面積	4,024 m <sup>2</sup>	作成者	嵯峨根
建築面積	2,232 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	4,404 m <sup>2</sup>	確認者	

外観/パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの内容を削除してください

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.6

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算  
①参照値 100%  
②建築物の取組み 86%  
③上記②以外の 86%  
④上記+ 86%

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.3

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.3

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.7

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.1

LR のスコア = 2.9

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.3

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.6

3 設計上の配慮事項		その他
総合 工場としての機能性を確保しつつ、作業性の効率や作業従事者の、安全や環境に対し配慮した。工場の敷地内のみならず周辺環境の保全にも配慮した設計とした。		0
Q1 室内環境 窓を大きく取り自然光の取り入れと自然換気を確保した。	Q2 サービス性能 窓を大きく取り開放的な空間で作業効率及び作業従事者の安全に配慮した。バリアフリー計画では全ての人が使いやすい施設とする配慮を行った。	Q3 室外環境 (敷地内) 京都府地球温暖化条例に基づく緑化計画を行い、室外環境を配慮した。
LR1 エネルギー 自然エネルギー太陽光発電の設置及びLED照明器具の設置でエネルギーに対する配慮を行った。	LR2 資源・マテリアル 節水型便器で節水可能な仕組みを装置した。	LR3 敷地外環境 雨水流出抑制槽を設置し、敷地外環境に配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される